

チャレンジしよう

～自分から みんなで～



学校経営目標

児童・保護者・地域・職員が「桜木小でよかった」という学校をつくる

- (1) 特別支援教育を基盤とした多様性を認める教育を実践する。
- (2) 自ら考える力を育成するために、主体的な学習や達成感のある特別活動を通して、「自分ごと」となる教育活動を創造する。
- (3) 自己肯定感と他者尊重のバランスがとれた健全な自尊感情を具体の姿とする。
- (4) 教育活動の成果・進捗状況を積極的に発信し、保護者・地域との連携・接続・協働体制を築く。
- (5) 計画的・効果的な予算執行で、安全で明るく落ち着いた教育環境整備を行う。
- (6) 業務改善を進め、新しい働き方を皆でつくる。

研修

自ら学ぶ授業

～対話を通して粘り強く取り組み、創り出す学びへ～

◇ 見通しをもち、粘り強く取り組むことができる単元構想

◇ 解決したくなる課題設定

学び部

☆ 伝え合う力を高める「話したい、聞きたい」

◇ 対話を通して学びを深める ◇ ICT 活用

☆ 学習環境を整える(ユニバーサルデザイン)

◇ 個別・最適な学びの充実

◇ 言葉を豊かにする読書の時間

創合力

創像力

創律力

活動部

☆ 行動する力を高める「やりますアクション」

◇ 達成感のある特別活動

～自主的・実践的な自治活動を

考え、行動することでレベルアップ

◇ 目標に向かって自主的に取り組む体づくり

生き方部

☆ 自己肯定感を高める「こころの健康週間」

◇ 自分や友達の良さに気づき認め合う

◇ レジリエンス(しなやかでたくましい心と体)の育成

◇ 道徳での振り返り(自分も相手も大切)

◇ 自分と学校を輝かせる桜木小自慢のあいさつと掃除

生徒指導の三機能

「いいね掲示板」

(自己決定、自己存在感、共感的な人間関係)をいかす

◇ 安心・安全な学級・学校づくり ◇ 規範意識 ◇ 一人を大事に寄り添う

◇ 初期対応・チーム対応 ◇ 保護者・地域・学園間の連携・接続・協働

桜が丘学園一貫教育

(架け橋カリキュラム)

保護者

- ◇ 子どもの心のベースとなる家庭
- ◇ 生き方の手本となる大人
- ◇ 「家読」(家庭読書)の推進

地域

- ◇ 地域コーディネーターを核とした支援
- ◇ 地域の団体・個人による学習支援
- ◇ まちづくり協議会等との安全・安心体制づくり

学校運営協議会

- ・学校が楽しい 90%
- ・自分のよいところが一つ言える 90%
- ・みんなのために 自分のために やりますアクションができる 90%
- ・開かれた学校づくりをしている 90%

チャレンジで みんな笑顔に